

2025年8月期 中間決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月14日

上場会社名 株式会社ヒロホールディングス
コード番号 5130 URL https:// www.kk-hiro.com
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 向山 孝弘
問合せ先責任者（役職名） 取締役財務経理部部长（氏名） 東浦 晃 TEL 0745（71）6661
中間発行者情報提出予定日 2025年5月30日 配当支払開始予定日 —
中間決算補足説明資料作成の有無： 無
中間決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年8月期中間期の連結業績（2024年9月1日～2025年2月28日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期中間期	1,304	16.9	112	625.3	129	805.8	83	807.1
2024年8月期中間期	1,116	9.7	15	△11.4	14	△19.0	9	△20.8

（注）包括利益 2025年8月期中間期 83 百万円（807.1％） 2024年8月期中間期 9 百万円（△20.8％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期中間期	277.27	—
2024年8月期中間期	30.57	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期中間期	742	126	17.0
2024年8月期	688	44	6.5

（参考）自己資本 2025年8月期中間期 126 百万円 2024年8月期 44 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	0.00	5.82	5.82
2025年8月期	0.00		
2025年8月期（予想）		—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2025年8月期の配当につきましては、現時点では未定としております。

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,259	3.7	94	33.7	106	58.6	64	84.6
								215.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年8月期中間期	300,000株	2024年8月期	300,000株
2025年8月期中間期	一株	2024年8月期	一株
2025年8月期中間期	300,000株	2024年8月期中間期	300,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	8
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンドの増加等により、国内景気は緩やかな回復傾向が見られております。しかしながら、継続的な物価上昇による個人消費の減速懸念やアメリカの政策動向、中東地域の情勢や金融資本市場の変動等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

携帯電話販売市場におきましては、5Gの普及やAI技術の進化等により買い替え需要も高まりつつあり、さらなる通信環境の活性化が期待されております。

一方、Zeta事業関連市場では、過去最高となったインバウンド市場における観光客誘致や博物館法の改正によるデジタルアーカイブの努力義務化等により、民間企業のみならず官公庁でもデジタル需要がより一層高まってきております。

このような事業環境のなか、当社グループが運営するキャリアショップでは、戦略的店舗統合を行い店舗あたりの集客力を強化しながら、引き続き商業施設等でのイベント開催による新規契約獲得機会の創出等により、前年同期比32.0%増（2024年8月期中間期6,787件・2025年8月期中間期8,958件）の新規契約件数となり、実績を伸ばすことができております。

なお、今後につきましては、当社グループの主要販売エリアである奈良県内においてキャリアショップの生産性を向上させることによりさらなるドミナントの強化に取り組んでまいります。

Zeta事業では、貴重な文化遺産や重要文化財などをデジタル形式で保存・保護し、歴史を未来へ残す「デジタルアーカイブ」、イマーシブプロジェクションマッピングや3D立体ホログラム、ドローンショーなどで次世代のエンターテインメントを創造する「エンターテイメント」、DXと空間ディレクションで、物理的な空間をトータルでプロデュース（Renovation：再生）し、新たな付加価値を創造する「DXRe空間」の3つをメイン事業に据えて、民間企業だけではなく官公庁を含む幅広い業種から問い合わせが増えており案件創出に結び付けております。

このような状況のもと、売上高は1,304,948千円（前年同期比16.9%増）、営業利益は112,905千円（前年同期比625.3%増）、経常利益は129,647千円（前年同期比805.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は83,180千円（前年同期比807.1%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりです。

① コンシューマ通信事業

イベントの開催場所や実施回数を増やしたことにより、MNPを始めとする新規契約件数を増加させることができ、売上高は1,241,955千円（前年同期比18.2%増）となりました。また、既存店舗の戦略的統合により収益性が大幅に改善されたため、セグメント利益は138,600千円（前年同期比285.9%増）となりました。

② Zeta事業

宿泊施設でのプロジェクションマッピングの導入や複数支店をもつ企業様へのデジタルサイネージや液晶ディスプレイの販売などにより、売上高は45,012千円（前年同期比7.2%増）となりました。

しかしながら、重要文化財等をデジタルデータで後世に残していく新たな取り組み（デジタルアーカイブ）に要した設備導入による投資に係る減価償却費8,620千円等の影響により、セグメント利益は2,472千円（前年同期比65.3%減）となりました。

③ その他事業

法人通信事業の端末販売件数の減少やRebonally事業のキャリアショップへの卸販売の減少により、売上高は17,980千円（前年同期比24.5%減）となりましたが、高粗利商材への販売注力により、セグメント利益は3,089千円（前年同期比17.3%増）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の財政状態につきましては、以下のとおりです。

(資産の部)

当中間連結会計期間末における流動資産は609,638千円となり、前期末に比べ30,056千円増加いたしました。これは主に、売掛金の増加38,879千円等によるものです。固定資産は132,637千円となり、前期末に比べ23,260千円増加いたしました。これは主に、Zeta事業における設備投資及びコンシューマ通信事業の店舗統合のための改装等による有形固定資産の増加28,959千円等によるものです。

この結果、総資産は742,276千円となり、前期末に比べ53,317千円増加いたしました。

(負債の部)

当中間連結会計期間末における流動負債は259,527千円となり、前期末に比べ38,978千円増加いたしました。これは主に、買掛金の増加8,504千円及び未払金の増加11,888千円並びに未払法人税等の増加23,495千円等によるものです。固定負債は356,352千円となり、前期末に比べ67,096千円減少いたしました。これは主に、長期借入金の減少67,393千円等によるものです。

この結果、負債合計は615,879千円となり、前期末に比べ28,117千円減少いたしました。

(純資産の部)

当中間連結会計期間末における純資産合計は126,396千円となり、前期末に比べ81,434千円増加いたしました。これは主に、利益計上に伴う利益剰余金の増加83,180千円等によるものです。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は390,541千円（前期末比4.3%減）となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は92,226千円（前年同期は1,457千円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前中間純利益124,175千円、減価償却費10,477千円、売上債権の増加38,879千円、未払金の増加11,888千円並びに法人税等の支払による減少17,499千円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は41,334千円（前年同期は3,869千円の使用）となりました。これは主にZeta事業における設備投資及びコンシューマ通信事業の店舗統合のための改装等による支出41,104千円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は68,605千円（前年同期は68,055千円の使用）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出66,589千円等によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期の通期の業績につきましては、2024年10月15日に公表致しました業績予想から変更はございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年 8 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 2 月 28 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	415,257	398,743
売掛金	75,736	114,615
有価証券	368	368
商品	72,180	79,383
貯蔵品	2,801	2,148
前払費用	13,217	12,877
その他	19	1,501
流動資産合計	579,582	609,638
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	40,307	46,916
器具及び備品（純額）	12,678	35,028
有形固定資産合計	52,985	81,945
無形固定資産		
のれん	7,068	6,607
その他	1,762	1,467
無形固定資産合計	8,830	8,075
投資その他の資産		
繰延税金資産	5,269	5,269
その他	42,290	37,347
投資その他の資産合計	47,560	42,616
固定資産合計	109,376	132,637
資産合計	688,959	742,276

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年 8 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 2 月 28 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	183	8,687
1 年内返済予定の長期借入金	131,238	132,042
未払金	42,883	54,771
未払法人税等	17,499	40,995
賞与引当金	1,740	2,260
その他	27,004	20,770
流動負債合計	220,548	259,527
固定負債		
長期借入金	416,709	349,316
退職給付に係る負債	6,107	6,675
その他	631	360
固定負債合計	423,448	356,352
負債合計	643,996	615,879
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	2,000	2,000
利益剰余金	△7,037	74,396
株主資本合計	44,962	126,396
純資産合計	44,962	126,396
負債純資産合計	688,959	742,276

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年 9 月 1 日 至 2024年 2 月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年 9 月 1 日 至 2025年 2 月28日)
売上高	1,116,375	1,304,948
売上原価	883,887	944,139
売上総利益	232,488	360,808
販売費及び一般管理費	216,920	247,903
営業利益	15,567	112,905
営業外収益		
受取利息	1	123
補助金収入	2,050	21,703
その他	134	50
営業外収益合計	2,186	21,877
営業外費用		
支払利息	3,411	3,404
支払手数料	—	1,435
その他	29	295
営業外費用合計	3,440	5,135
経常利益	14,313	129,647
特別損失		
固定資産除却損	—	5,471
特別損失合計	—	5,471
税金等調整前中間純利益	14,313	124,175
法人税等	5,143	40,995
中間純利益	9,169	83,180
親会社株主に帰属する中間純利益	9,169	83,180

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年 9 月 1 日 至 2024年 2 月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年 9 月 1 日 至 2025年 2 月28日)
中間純利益	9,169	83,180
中間包括利益	9,169	83,180
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	9,169	83,180
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間 (自 2023年 9 月 1 日 至 2024年 2 月29日)

(単位：千円)

	株主資本				純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	株主資本 合計	
当期首残高	50,000	2,000	△40,788	11,211	11,211
当中間期変動額					
剰余金の配当			△1,221	△1,221	△1,221
親会社株主に帰属する 中間純利益			9,169	9,169	9,169
当中間期変動額合計	—	—	7,948	7,948	7,948
当中間期末残高	50,000	2,000	△32,839	19,160	19,160

当中間連結会計期間 (自 2024年 9 月 1 日 至 2025年 2 月28日)

(単位：千円)

	株主資本				純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	株主資本 合計	
当期首残高	50,000	2,000	△7,037	44,962	44,962
当中間期変動額					
剰余金の配当			△1,746	△1,746	△1,746
親会社株主に帰属する 中間純利益			83,180	83,180	83,180
当中間期変動額合計	—	—	81,434	81,434	81,434
当中間期末残高	50,000	2,000	74,396	126,396	126,396

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年 9 月 1 日 至 2024年 2 月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年 9 月 1 日 至 2025年 2 月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	14,313	124,175
減価償却費	5,776	10,477
のれん償却費	460	461
固定資産除却損	—	5,471
敷金償却	359	349
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△240	520
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	887	567
受取利息及び受取配当金	△1	△123
支払利息	3,411	3,404
補助金収入	△2,050	△21,703
売上債権の増減額 (△は増加)	△43,812	△38,879
棚卸資産の増減額 (△は増加)	3,505	△6,549
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,870	8,504
未払金の増減額 (△は減少)	6,407	11,888
その他	7,675	△7,193
小計	3,562	91,370
利息及び配当金の受取額	1	123
利息の支払額	△3,454	△3,471
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払額)	△702	△17,499
補助金の受取額	2,050	21,703
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,457	92,226
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,200	△1,200
有形固定資産の取得による支出	△2,669	△41,104
その他	—	970
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,869	△41,334
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△66,564	△66,589
割賦債務の返済による支出	△270	△270
配当金の支払額	△1,221	△1,746
財務活動によるキャッシュ・フロー	△68,055	△68,605
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△70,467	△17,713
現金及び現金同等物の期首残高	381,355	408,254
現金及び現金同等物の中間期末残高	310,888	390,541

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前中間連結会計期間 (自 2023年 9 月 1 日 至 2024年 2 月 29 日)

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結財務 諸表計上額 (注) 3
	コンシューマ 通信事業	Zeta事業				
売上高						
外部顧客への売上高	1,050,573	41,990	23,811	1,116,375	—	1,116,375
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,050,573	41,990	23,811	1,116,375	—	1,116,375
セグメント利益	35,915	7,133	2,634	45,683	△30,115	15,567

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、法人通信事業、Rebonally事業、貸会議室事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△30,115千円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当中間連結会計期間 (自 2024年 9 月 1 日 至 2025年 2 月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結財務 諸表計上額 (注) 3
	コンシューマ 通信事業	Zeta事業				
売上高						
外部顧客への売上高	1,241,955	45,012	17,980	1,304,948	—	1,304,948
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,241,955	45,012	17,980	1,304,948	—	1,304,948
セグメント利益	138,600	2,472	3,089	144,162	△31,256	112,905

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、法人通信事業、Rebonally事業、貸会議室事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△31,256千円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。